

校長室だより

No. 4

平成28年4月28日(木)

強く やさしく

六ツ美中部小学校校長

かとうよしかず  
加藤嘉一

今年もやります 誕生月会食 ー一人一人をお祝いしてー

教室を見ていくと、誕生月ごとに名前の書かれた掲示がありました。また、朝の会や帰りの会で、その日誕生日の子を紹介する学級もあるようです。

誕生の尊さや一人一人の命の重みを感じさせる学習は、道徳や特別活動、生活科理科、社会、総合、行事など、機会をとらえて



様々な形でアプローチを繰り返していきます。それでも、保護者のみなさんの「あなたが生まれてくれて幸せ」の一言には、絶対勝てません。小さなお祝いですが、今年も全校の子を校長室に招き給食を一緒に食べ、「誕生日おめでとう」のこたばを贈っていきたいと思います。

ちょっとコーヒーブレイク

【ある月の生まれは23人 同じ誕生日の人がいる確率は？】

少し余談になりますが、昨年1年同じ誕生月の子を集めた名簿を作ってみると、ひと月に約20人から30人くらいの子が同じ誕生月になります。今年でいうと、309人いますので、平均して一月あたり25.75人いることになります。

面白いことに、昨年どの月も同じ誕生日になる子たちがいました。2月以外はひと月に30日か31日ですので、「今月の誕生月の子は、25人なら1組いればいいほうだ」と私は直感的に考えましたが、昨年、多い月は3組か4組もいました。

(ちなみに、今年の4月生まれは全校で20人。同じ誕生日の子たちが4組あり、さらにある一日は4人が同じ日でした。これはちょっと驚異的。)

実は、23人いれば50%以上の確率で同じ誕生日の子がいるようです。(高校の数学が得意な方は、計算機があれば計算できると思います。)これはよく調べてみると、「誕生日のパラドックス」と言うようです。人間の直感はいい加減ですね。

今回手渡すものは・・・ －SP（スペシャル）シャボン玉液－



今月の誕生日会食を今週行ったところ、校長室に入ってきた早々、ある子に「校長先生！今年は何くれるの？」と言われました。用意しておいてよかった・・・期待されていました。

今年、用意したのはわたしの手作りシャボン玉液です。名付けて、「SP（スペシャル）シャボン玉液」。これは、通常に市販されているものよりも丈夫なシャボン玉液（のはず）です。

実はまだ担任時代で算数の研究をしていた頃、比の学習をするのによい教材はないかと思案し、このシャボン玉液を教材にして授業を研究したことがあります。シャボン玉液はシャボン玉液でもただのシャボン玉液ではありません。「人が入ることのできるシャボン玉液」です。

材料は、台所洗剤（界面活性剤40%以上）、PVA洗濯のり、水です。  
材料費は、たぶん300円～500円ほどで人が入るシャボン玉液に必要な量を用意することができるはずです。



今回のプレゼントは、このときに近い分量で配合した「SPシャボン玉液」とストロー3本です。大きい子たちには、強いシャボン玉液を作る材料を教え、「興味があれば挑戦を」と言い、小さい子たちには、「シャボン玉の作りやすいストローの先の形と吹き方を工夫してみてください」と言います。安全にも注意します。

物をあげてお祝いすることを目的としているわけではありません。昨年今年とプレゼントする物は、一人一人手と知恵を使って工夫する楽しさや創造する楽しさを経験してほしいという願いからです。「人が入ることのできるシャボン玉」は、どこかで本校の子供たちに見せてあげたいと思います。